

報道関係者各位

2023年10月30日 配信 No.2023-24
立命館アジア太平洋大学 (APU)

2023年11月の行事予定

立命館アジア太平洋大学（大分県別府市、学長：出口治明、APU）が11月に実施するイベント情報をお知らせします。すべてご取材いただけますので、ぜひご検討ください。

1. 2023年度「B型：選抜プロジェクト」最終選考 公開プレゼンテーション

日時：11月1日（水）13:00～15:30 *最終選考に残ったうち4組が順にプレゼンテーション

2日（木）10:35～13:00／14:20～15:30 *最終選考に残ったうち5組が順にプレゼンテーション

場所：立命館アジア太平洋大学 グリーンcommons

概要：APUでは、学生グループが発案するイベントやプロジェクトへの支援を行っています。「B型：選抜プロジェクト型」は、独創的で突出したグループプロジェクトを選出し、学生たちが半年～1年間をかけて着実に完成させられるよう支援する制度です。応募グループには、2つ以上の国籍・地域出身の学生3名以上で構成されていることが推奨されています。このたび2023年度のプロジェクトを決定するにあたり、最終選考として公開プレゼンテーションを行います。

2. 大分銀行×APU 寄附講座 県内の有形・無形の地域資源「おおいた遺産」を学ぶ講座

APUは2017年秋より「おおいた遺産」に関する公開講座を行っており、2021年からは大分銀行が共催の寄附講座「おおいた遺産を活用した地域づくり」を開講しています。いずれの日程も、どなたでも無料でご参加いただけます。

【第3日 豊後大野】

日時：11月1日（水） 13:00～14:50 ※50分×2部構成

開催形式：オンライン（Zoomウェビナー）

講師：山路康弘氏（博士(文学)/大分学研究会 運営委員）「大分の宝磨崖仏と石造文化」

高橋ケン氏（LAMP豊後大野/REBUILD SAUNA支配人）

「ただし温泉はない、だがサウナはある。」

【第4日 グループワーク発表】

日時：11月15日（水） 13:00～16:30

開催場所：（対面）立命館アジア太平洋大学 グリーンcommons、（オンライン）Zoomウェビナー

コーディネーター：久保隆行 立命館アジア太平洋大学 教授

神足博美 立命館アジア太平洋大学 非常勤講師

檜本 譲司 立命館アジア太平洋大学 非常勤講師

3. オープンキャンパス

日時：11月12日（日）10:00~16:30（受付9:30~）

対象：受験生、APUに関心のある中高生、保護者など

*参加費無料、要申込。詳細と申し込みは右記QRコード、または下記URLから。

<https://www.apumate.net/event/opencampus/>



概要：APUのオープンキャンパスでは、APUで学ぶ現役学生が、学生目線でリアルな大学の魅力をお伝えします。国内学生や国際学生が日本語で行うキャンパスツアーと国際教育寮APハウスツアー（事前申込）は、学生の実体験を踏まえた情報や生活の様子をお伝えする企画です。特別企画「出口学長×米山次期学長対談 ～APUから変わる世界～」や、特別講演「あなたの探究活動が大学の学びを面白くする ～社会課題“D&I”の探究～」も開催します。

4. Autumn Sketch Kannawa（オータム・スケッチ・鉄輪）

日時：11月12日（日）10:00~16:00（最終受付15:30）

場所：「地獄蒸し工房 鉄輪」前の広場

参加費：500円 *どなたでもご参加いただけます

概要：サステナビリティ観光学部 YOUN Seung Ho教授のゼミ生たちが「鉄輪カレッジ」と協働してスケッチイベント「Autumn Sketch Kannawa」を開催します。YOUNゼミでは、鉄輪温泉地域を含む別府全体の持続的な発展に向けた「来訪者の多様化」の重要性を研究しています。鉄輪を芸術的な観点を持った人々が集う「カルチャーリゾート」にすべく活動する「鉄輪カレッジ」に共感し、このたび観光客をターゲットにスケッチイベントを開催する運びとなりました。「スケッチの部」「ぬり絵の部」「写真の部」を設け、観光客の方が地域の人々と交流し、鉄輪の風景をじっくりと眺められる機会の創出を目指します。

5. 別府市制100周年記念事業 プレ事業「シン・別府学講座」副学長 米山裕（次期学長就任予定）登壇

日時：11月19日（日）14:00~15:00

場所：別府市役所 1階 レセプションホール（別府市上野口町1番15号）

対象：中学生以上の別府市民 ほか

参加方法：事前予約制（[Web予約フォーム](#)または電話にて受付）

概要：別府市政100周年記念プログラムのプレ事業にて、副学長米山裕が「世界の人を魅了する町・別府 多様性がつなげる未来」をテーマに講演します。多種多様な人たちを受け入れてきた寛容なこの町の現在、そして未来について「多様性」を軸に語ります。

【11月、12月開催】マルチカルチュラル・ウィーク

「マルチカルチュラル・ウィーク」は、ひとつの国・地域にスポットを当て、キャンパス内で一週間かけて魅力を紹介するAPU恒例のカルチャーイベントです。音楽、衣装、踊り、スポーツや言語など、様々な切り口で各国・地域の文化を紹介します。

今秋の「マルチカルチュラル・ウィーク」では、6ヵ国・地域のイベントを開催しています。いずれのイベントでも期間最終日に、各文化を堪能できるグランドショー（創作劇）をミレニアムホールで開催する予定です。詳細は各ウィークの開催が近づき次第お伝えできますので、ぜひお問合せください。

1. モンゴル・ウィーク 10月30日（月）～11月3日（金）

2. インド・ウィーク 11月6日（月）～11月10日（金）

3. インドネシア・ウィーク 12月4日（月）～8日（金）

東京開催

1. 東京サピアアカデミー “Future Perspectives of Inclusive Business Leadership : What Global CEOs say?”

日時：11月3日（金・祝）

開催形式：対面・オンライン

場所：ステーションコンファレンス東京（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー4~6階）

講師：キム・レベッカ国際経営学部教授

開催言語：英語

費用：無料

概要：世界的パンデミックが、多国籍企業（MNE）におけるインクルーシブなリーダーシップにどのように影響を与えたかを探求します。フランス、インド、日本、韓国、イギリス、アメリカの6か国にまたがる120のMNEのCEOの発言を分析することで、インクルーシブリーダーシップの主な行動と持続可能な企業実践との相関関係を明らかにし、その影響を検討します。

2. 「世界史とは何か」出版記念 小川先生×APU国際生 世界を知るための対話

日時：11月18日（土）14:00~16:00

場所：立命館東京キャンパス（東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー8階）

講師：小川幸司先生（長野県伊那弥生ヶ丘高等学校教員。世界史教育。「岩波講座 世界歴史」（岩波書店,2021-）編集委員、「世界歴史01 世界史とは何か」（岩波書店）責任編集。著書に『シリーズ歴史総合を学ぶ③ 世界史とは何か』（岩波書店）

開催言語：日本語

費用：無料

概要：100カ国以上の多様なエスニシティが混ざる立命館アジア太平洋大学（APU）の学習環境の最大の利点は、国籍・宗教・人種等、皆それぞれの相違へのリスペクトを前提とした心理的安全性が担保された空間で、まさに世界との「タブーなき対話」が可能となっていることです。今回、ユニークな「歴史実践」をされてきた小川幸司先生を講師としてお招きし、APU卒業生との対話を開催します。彼らは母国や、世界、日本をどのように見ているのでしょうか？小川先生の講演、ウズベキスタン、モンゴル出身のAPU卒業生とのパネルディスカッション、交流会等が予定されています。